厄神社　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

当神社は、神速須佐之男命を奉斎し、５６代清和天皇の貞観９年（867平安前期）８月備後の国鞆之津祇園宮から小林庄都羅之郷、宮之壇（現宮之浦）に勧請「薬神宮」と称した。

その後土地開発により住民が連島山脈の南面に移住すると、第９９代後亀山天皇の天授３年（1378南北朝）春日北朝の永和３年春日字小船（現西之浦）の地に奉遷し、「疫神宮」と改称した。

第１０１代称光天皇の応永２３年（1416室町中期）１１月１３日字小川（西之浦）の地に遷し奉り、又第１０４代後柏原天皇の大永８年（1529室町後期）５月吉日古宮（現西浦小学校東端）に遷宮した。再び第１０７代後陽成天皇の慶長１２年（1607幕末）の秋、願主物部氏、船氏、生和氏等協力して御本殿を建立した。

第１１１代東山天皇の宝永６年（1709江戸中期）９月７日現地当山の石山に奉遷し、「厄神宮」と称した。

明治７年神仏分離により「厄神社」と改称する。当山遷座後、大正１０年奉遷２００年祭、昭和４６年５月奉遷２５０年祭を執行現在に至る。

往古よりあらゆる災難防護、病気平癒、産業繁栄、文芸、学問の神として知られており、その御神徳を仰ぎつつ、更に現在では厄除祈願、安全祈願等が盛んに行われている。また多くの会社企業等から業務の安全、繁栄を祈り広く崇敬されている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	02043
神社名	厄神社（ヤクジンジャ）
通称名	やくじんさま
旧社格	村社
鎮座地	〒712-8001 倉敷市連島町西之浦3815
電話番号	086-444-7372
FAX番号	
駐車場	有　10台
御祭神	神速須佐之男命
御神徳	厄除け，安全祈願
主な祭典	５月１５日に近い日曜日：春祭 ７月夏休み最初の日曜日：夏越大祓祭 １０月１６・１７日（第２日曜日の土日）：秋季例大祭
宮司宅電話	
URL	
e-mail	

特記事項　境内に近代詩人、薄田泣菫の詩碑有り

氏子地域　倉敷市（連島町西之浦、水島海岸通、水島中通、水島西通、水島川崎通）

交通アクセス

倉敷駅から水島方面１０km、バスで３０分 新倉敷駅から連島方面へ７km　バスで２０分

神事一覧

夏越祭	祭礼日時：7月下旬18時	文化財指定：　無	神事詳細
神輿行事	祭礼日時：10月16日、10月17日	文化財指定：　無	神事詳細

検索画面に戻る

© 2016 Okayamaken Jinjacho